

平成29年度 グローバル人材育成特別コース カリキュラム表(H29年度入学者用)

科目区分	授業科目	必修・選択	履修年次	単位	修了要件	区分	学習目標	授業の概要	担当教員	開講学期								対象者	備考			
										H29年度				H30年度								
										1学期	2学期	3学期	4学期	1学期	2学期	3学期	4学期					
英語力養成プログラム (SPAcE)	英語コミュニケーション1-1 (スピーキング&リスニング)	必修	1~	0.5	6	外国語科目 (英語コミュニケーション1~6)	幅広い内容の英語を聞き、要約することができる。さらに、専門分野に関連する内容について、効果的に議論することができる。質問に対して適切に回答することができる。	幅広い内容の英語を聞き、要約するリスニング力と、それに対する自分の考えを表現できるスピーキング力を修得する。さらに、専門分野に関して発表し、質問に適切な応答ができる演習も行う。										全学	指定されたクラスを受講すること。			
	英語コミュニケーション1-2 (スピーキング&リスニング)	必修	1~	0.5			幅広い内容の英語を聞き、要約することができる。さらに、専門分野に関連する内容について、効果的に議論することができる。質問に対して適切に回答することができる。	幅広い内容の英語を聞き、要約するリスニング力と、それに対する自分の考えを表現できるスピーキング力を修得する。さらに、専門分野に関して発表し、質問に適切な応答ができる演習も行う。														
	英語コミュニケーション2-1 (リーディング)	必修	1~	0.5			幅広い分野の英文が読める。さらに、学術的な語彙や語法を習得し、専門分野に関連する内容のテキストが読むことができる。	様々な分野のエッセイや時事問題、さらに学術的な内容を扱う英文を用いてリーディング演習を行う。英書をたくさん読む「多読」も実践していく。														
	英語コミュニケーション2-2 (リーディング)	必修	1~	0.5			幅広い分野の英文が読める。さらに、学術的な語彙や語法を習得し、専門分野に関連する内容のテキストが読むことができる。	様々な分野のエッセイや時事問題、さらに学術的な内容を扱う英文を用いてリーディング演習を行う。英書をたくさん読む「多読」も実践していく。														
	英語コミュニケーション3-1 (ライティング)	必修	1~	0.5			幅広い話題に関する英文を様々なパラグラフの形式で書くことができる。明確で論理的に構成された英文レポートを書くことができる。	比較、対照、議論、物語などの様々な形式を用いて、構成の整った英文を書く演習を行う。明確で論理的な構成を用いて英文レポートを書く演習を行う。														
	英語コミュニケーション3-2 (ライティング)	必修	1~	0.5			幅広い話題に関する英文を様々なスタイルを用いて書くことができる。序論・本論・結論の3部構成による英文レポートを書くことができる。	比較、対照、議論、物語などの様々な形式を用いて、構成の整った英文を書く演習を行う。明確で論理的な構成を用いて英文レポートを書く演習を行う。														
	英語コミュニケーション4-1 (アカデミックビーク&タスク)	必修	2~	0.5			英語の4技能をバランスよく駆使して担当教員が与えた課題に取り組みすることができる。ディスカッションやプレゼンテーション、およびディベートなどを通して発信型の英語力を実践することができる。	英語の4技能を駆使して、与えられた課題に取り組み、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベートを行い、情報収集力、批判的思考力、協調性、創造性などの能力を伸ばしていく。														
	英語コミュニケーション4-2 (アカデミックビーク&タスク)	必修	2~	0.5			英語の5技能をバランスよく駆使して担当教員が与えた課題に取り組みすることができる。ディスカッションやプレゼンテーション、およびディベートなどを通して発信型の英語力を実践することができる。	英語の5技能を駆使して、与えられた課題に取り組み、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベートを行い、情報収集力、批判的思考力、協調性、創造性などの能力を伸ばしていく。														
	英語コミュニケーション5-1 (スピーキング&リスニング)	必修	2~	0.5			より専門分野に近いアカデミックな内容の英文の聞き取り、論点を整理してペアやグループで議論することができる。最終的に自らが見つけたテーマについて口頭発表することができる。	アカデミックなテーマに関する英語をメモをとりながら聞き、論点を整理し、ペアまたはグループでディスカッションを行う。また自らが探究したテーマを最終的に口頭発表する。														
	英語コミュニケーション5-2 (スピーキング&リスニング)	必修	2~	0.5			より専門分野に近いアカデミックな内容の英文の聞き取り、論点を整理してペアやグループで議論することができる。最終的に自らが見つけたテーマについて口頭発表することができる。	アカデミックなテーマに関する英語をメモをとりながら聞き、論点を整理し、ペアまたはグループでディスカッションを行う。また自らが探究したテーマを最終的に口頭発表する。														
	英語コミュニケーション6-1 (リーディング&ライティング)	必修	2~	0.5			より専門分野に近いアカデミックな英文を理解することができる。論点を整理してペアやグループで議論する。最終的に、自らが見つけたテーマについて論文を書くことができる。	アカデミックなテーマに関する英文をメモを取りながら読み、論点を整理し、ペアまたはグループで議論したり、情報を収集してアカデミックペーパーを執筆する。														
	英語コミュニケーション6-2 (リーディング&ライティング)	必修	2~	0.5			より専門分野に近いアカデミックな英文を理解することができる。論点を整理してペアやグループで議論する。最終的に、自らが見つけたテーマについて論文を書くことができる。	アカデミックなテーマに関する英文をメモを取りながら読み、論点を整理し、ペアまたはグループで議論したり、情報を収集してアカデミックペーパーを執筆する。														
初修外国語プログラム	Introduction to Global Studies	選択	1~	1	各グループによって単位数は異なる (別表1参照)	外国語科目 (上級英語)	社会問題や人権などが関連するグローバルな問題に対する意識を育成し、関連するテーマについての講義、ビデオや記事内容などについて理解ができ、口頭及びライティング形式でしっかりと議論ができる。	グローバルな問題に関するテーマについてのビデオや講義を聞いたり、記事を読んで幅広い視野を身につける。また、議論、プレゼンテーション、レポート執筆を通して学生同士で情報や考えを共有をする。	ルンズスキー、カウイー、ファースト	月7・8	月7・8	月7・8	月7・8					全学部対象 (ただし、第2~4学期はコース生優先)	繰り返し履修可 履修希望者は、事前に bit.ly/okadaiclass にアクセスすること			
	Independent Study Class	必修	1~	1			自主的な学習態度を育成するために、自分自身の思考や行動を認識・把握する認知力を養い、批判力や分析力等の自律的な学習能力を身につける。	自らの学習領域の弱点を把握し補強するための学習目標を設定する。様々なメディアや教材の中から各自の目標にあった教材や方法を選んで実践し英語力を伸ばしていく。	マーリー、ウィックストラム	月7・8	月7・8							全学部対象 (ただし、第2学期はコース生のみ)				
	Academic Class 1	必修	1~	1			学術的な文献の読解、講義の理解、エッセイの書き方、および議論の方法などを学ぶ。	スキル別学習を行い、講義形式の授業で求められる基礎的なアカデミックスキルや方法を習得する。授業では、学術的な文献を読んだり、講義を聞いたり、エッセイを書いたりし、さらに口頭発表も行う。	ブリチャード、ファースト、五十嵐		月5・6	木7・8 (補講)							コース生のみ	クラス分けあり 繰り返し履修可 クラス分けあり		
	Academic Class 2	必修	1~	1			演習形式の授業を通して、批判的な議論展開の方法を学び、口頭発表およびリサーチペーパーの執筆を行う。	AC1の発展授業として提供され、演習形式の授業で必要なアカデミックスキルを習得する。自分の関心や専門に近いトピックについてリサーチし、グループおよび全体で発表する。また、リサーチペーパーとしてまとめるために、文献の引用の仕方や言い換えなど、論文執筆の作法も学ぶ。	カウイー、フジシマ、メイキ			月5・6	木1・2							コース生のみ	繰り返し履修可 クラス分けあり	
	TOEFL Preparation Class 1	選択 必修	1~	0.5 又は 1			スキル別演習問題に取り組むことにより、個人が目標とするTOEFL iBTスコアを取得する。	TOEFL iBT試験に合わせたスキル演習を行う。	鷗持、大年、五十嵐、栗原	月7・金7	月7・木7 火7・金7	月7・木7 火7・金7	月7・木7 火7・金7	○	○	○	○				繰り返し履修可	
	IELTS Preparation Class 1						スキル別演習問題に取り組むことにより、個人が目標とするIELTSスコアを取得する。	IELTS試験に合わせたスキル演習を行う。	寺西	月7 火7	火5・6 金5・6	木3・4 木5・6	木5・6	○	○	○	○					
	TOEFL Preparation Class 2	選択 必修	1~	1			特定のスキルの演習問題に取り組むことにより、個人が目標とするTOEFL iBTスコアを取得する。	TOEFL iBT試験に合わせた特定のスキル演習を行う。													コース生優先	H29年度開講せず
	IELTS Preparation Class 2						個人が目標とするIELTSスコアを取得する。	IELTS試験に合わせた受験対策の演習を行う。														
	Intercultural Relations and Communication	選択 必修	1~	1			多様な視点から異文化を理解することができる。さらに、グループワークなどを通して議論したり自分の意見を論理的に発表したりすることができる。	異文化理解および異文化コミュニケーションに関するテキストを利用し、留学時に近い授業を行う。	フジシマ、メイキ、マーリー、ウィックストラム			木5・6	木5・6	○	○	○ (補講)	○ (補講)			コース生のみ	繰り返し履修可 1年次からの履修を推奨する クラス分けあり	
	Research Writing Class	必修	1~	1			各グループによって単位数は異なる (別表1参照)	アカデミックライティング技能を育成することをねらいとして、英語や日本語の文献に基づいたリサーチペーパーを書くことができる。明確な問題提起を提示し、関連する文献を批判的に分析した上で先行研究としてまとめ上げ、引用方法や文献リストを作成し、論理的な議論の展開や反論をすることができる。	アカデミックライティングを育成すると同時に、批判的思考や分析力も養い、リサーチプロジェクトに従ったりリサーチペーパーを執筆する。プロジェクトに関連した様々なアカデミックな文献を読んだり、議論に参加したり、プレゼンテーションも行う。	フジシマ、メイキ、ブリチャード、ルンズスキー		火5・6 金5・6	月7・8 木3・4	月7・8 木3・4	○	○	○	○			コース生のみ、1年次から授業科目「英語特別演習2-1・2-2」を当該科目として履修できる。ただし、「英語特別演習2-2」を先に履修する場合は、事前に担当教員に相談すること 繰り返し履修可	
サマー・スプリング・スクール	グローバル海外短期実習 ※2	選択 必修	1~	1	1	実践知	外国で日常生活を送ることができるレベルの語学力を身につける。また、異文化を実体験することにより、異文化への理解を深める。	初年次の夏休みにあたる春季休暇中に、海外1~5週間の語学研修を行う。	加藤、稲森、陳	夏季集中	春季集中	夏季集中	春季集中					コース生のみ	リサーチグループは、「サマー・スプリング・スクール」が「海外留学・インターンシップ」のいずれかで1単位履修すること。 希望者は事前に相談すること			
	グローバル国内短期実習	3~	1	L-caféを拠点としてインターンシップを行う(但し、留学帰国後の学生のみ対象。最大3人。選考試験あり。)			藤本	—	—	—	—	—	—	—	集中 (不定期)							

